

# 1900

## 東北法律学校開校記事 『明治法学』第14号(1900年11月)

『明治法学』第14号に掲載された東北法律学校開校記事です。三島駒治により創立されたこと、校長に明治法律学校講師でもあった川目亨一が就任したことを伝えています。

◎東北法律学校の創立  
本校・成島駒治氏は、東北地方に法律学校を設け、久しく創立の計畫中でありしに、遂に明治二十九年(1900年)に東北法律学校なるものを設立し、翌年(1901年)より、東京府麹町区本町三丁目(現・千代田区本町三丁目)に校舎を設け、開校せられたり、爾して本法は本校を以て日本法政研究所として、日本法政研究所と改題せられたり、其時、本校に在りし校長は、川目亨一氏に在りしとあり、大原と云はれる方も、東北に在りし校長あり、京都に在りし校長あり、今又、後述に其の創立あり、法學界の爲め、深く感ずべき事なり。

## 旧神田区に所在した法学系私立学校

現校名	専修大学	中央大学	日本大学	法政大学	明治大学
創立時校名	専修学校	英吉利法律学校	日本法律学校	東京法学社	明治法律学校
創立年月	1880年9月	1885年7月	1889年10月	1880年4月	1881年1月
神田区内での 創立・移転時住所	神田区 中猿樂町4	神田区 神田錦町2-2	神田区 三崎町3-1	神田区 北甲賀町19	神田区 南甲賀町11

## 神田発!法律知識の全国普及②

今回は、本誌75号(2017年7月)の当コーナーで掲載しました「神田発!法律知識の全国普及」の第2弾です。

上記の諸大学は、明治10~20年代に創立された法学教育の課程を持つ高等教育機関で、明治時代は旧神田区とその周辺にキャンパスを構えていました。

各校の関係者(教員・卒業生)たちの中には、自身の郷里や赴任先において、法律知識を広く教育するための学校の創立や運営に協力した人たちがいました。彼らは、出身校・本務校の枠を超えて、法律知識の普及のために尽力しました。それらの学校のほとんどは短期間で閉校しましたが、明治時代における法律知識普及の視点から振り返れば、たいへん意義のある活動であったといえるでしょう。

明治大学史資料センター 阿部 裕樹

# 目で見ると 明治大学の 歩み #72

明治大学史資料センター

## 高知法律学校

高知法律学校は、高知市やその周辺で活動していた法曹と、自由民権運動を担った立志社系統の組織・団体出身の法曹が連携して、1888(明治21)年10月に高知市鷹匠町に創立されました。「校主」となった油井守郎をはじめ、藤原好規、大野清茂、弘末義路ら明治大学校友の弁護士たちも同校の教育・経営に携わりました。

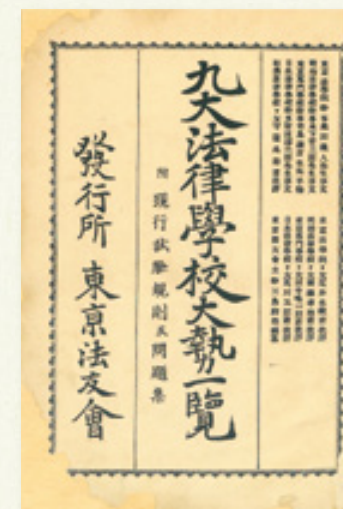


藤原好規(左)と大野清茂(右)(『校友写真帖』、1910年)

# 1898

## 『九大法律学校大勢一覽』

現在の慶大・専大・中大・東大・獨協大・日大・法大・明大・早大各校の学則・講師名・学生数など詳しいデータを収めた冊子です。この本を編集・発行した三島駒治は、東京法学院(現中大)と明治法律学校(現明大)を卒業し、1900(明治33)年に仙台市に東北法律学校を創立しました。



(注) 写真は全て明治大学史資料センター所蔵資料。  
(付記) 本ページの成果は、JSPS 科研費 JP(16K03060)の助成を受けたものです。